

## 令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来観光ビジネス学科 通信制課程	科目名	ホテルプロデュースⅡ		
授業種類	実技	履修区分	必修	履修時期	通年
単位数	2単位	担当教員	酒井浩一		
授業 内容	《授業概要》				
	<p>ホテルをプロデュースするということは、マネジメントとCREW、CREWとGUEST、マネジメントとGUESTのそれぞれの関係を強固にすることです。自身がコンサルティングの立場に立った時、CLIENTからお金をいただいて、これらそれぞれの関係性を築くことではありますが、受講する皆さんは、お金をもらってプロデュースするという緊張感の中で当科目を学んで欲しいと思います。また、ホテルに勤務している立場であるならば、そのホテルがひと時の隆盛と、未来永劫進化繁栄を重ねることできるホテルをイメージしてプロデュースの学習をしていきましょう。</p>				
授業 内容	《学習の到達目標》				
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 企画からプレゼンテーションまでの一連の流れを習得することが出来る。</li> <li>2 各科目での学習を実践的に生かすことが出来る。</li> <li>3 「ヒト」「モノ」「カネ」の各側面をプロデュース対象にすることができる。</li> <li>4 サービストライアングルの構造からプロデュースを学ぶことが出来る。</li> </ol>				
授業計画					
前期			後期		
4月	サービストライアングルの復習		9月	管理部門プロデュース(財務)	
	ホテルを業界とサービストライアングル			管理部門プロデュース(総務・人事)	
5月	サービスプロデュース		10月	管理部門プロデュース(マーケティング)	
	CREWとGUESTの関係プロデュース			管理部門プロデュース(購買管理)	
6月	しかけのプロデュース		11月	管理部門とオペレーションの関係性プロデュース	
	MANAGEMENTとGUESTの関係プロデュース				
7月	モチベーションマネジメントプロデュース		12月	理想のホテルづくり①	
	MANAGEMENTとCREWの関係プロデュース				
8月	前期のまとめ、点を線にしてみよう		1月	理想のホテルづくり②完成	
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	教科書は特に指定しません。教員が作成するプリントを主たる教材にします。また、関連する数多くの書籍を読むようにして下さい。特に雑誌類を定期購読することをお勧めします。ハード面(建築学)にも関心を持っていただきたいので、関係する雑誌類は読むようにしましょう。				
成績評価	定期試験を全体の40%、プレゼンテーションを全体の40%、実習態度や実習レポートが全体の20%として評価します。なお、定期試験は課題におきかえることも有ります。				
履修上の 留意点	プロデュースには、多様な知識と、研ぎ澄まされた感性を必要とします。社会、人文、自然科学など多方面に関心を持ち続けることを大切です。				